

## 第4号議案

### 令和3年度事業計画(案) (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

特定非営利活動法人  
京都観光文化を考える会・都草

#### 1 基本方針

新型コロナウイルス感染拡大の収束は未だ困難を極める状況下であり、令和3年度の都草の活動にも引き続き大きな影響を及ぼすものと予測される。このように先の見えない状況下ではあるが、都草は会員の安全を最優先とし、本年の都草創立15周年記念事業実施に向け、会員と共に粛々と取り組んでいく。

発足時からの理事メンバーの交替が順次行われる時期に入り、遂に、本年度から都草発足時の理事メンバーが皆無となった。またこれと期を一にして、長期に及ぶ新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、受託事業の激減という現状がある。正に、時代の変わり目にある。よって、NPO 法人としての運営体制や運営基盤の見直しと再考、人的補強などを今までにも増して意識的に強力に進めなければならない。そして、この1年で活動や会議の運営に欠かせない存在となったデジタル化をニューノーマルの一つとして今後も重視し、新たにデジタル事業部門を設置することとした。よって、リモート会議、YouTube 等を活用したオンライン配信や、行事予定変更など急を要する連絡のスムーズな対応の必要性から、会員の皆様には、郵送会員からメール会員への変更をお願いしていきたい。

コロナ禍にあっても、引き続き、国、京都府、京都市、京都商工会議所、地域団体、法人会員などとの連携を探り遂行しながら、より質の高い会員活動の場の創出や活動内容の充実に努めていく。

そして、京都に関する高い知見を持つ会員の皆様のやり甲斐と、知的好奇心を充足させる活動を推進する為に、従来からの調査・研究とその発信活動や、アフターコロナの新事業の検討、さらにデジタル化を取り入れた質の高い会員活動の場の創出など、運営に努めていく。

15年間の実績を重ねてきた NPO 法人として、今後も社会的貢献を積極的に果たしていく。

#### 【主な具体案】

##### ◎社会連携事業

- ・京都御苑歴史研究会では、今年度からコースを増やし、新マップを活用した京都御所・御苑歴史散策ツアーを充実させる。
- ・旧議場土曜講座に参画し、会員活動の場を維持する。
- ・地域の伝統行事継承支援として、大船鉾ボランティア活動を継続する。
- ・美化活動は、新幹部の加入で運営母体の充実に努め、奉仕先社寺の選定や行事案内・オリエンテーションの利用などの工夫で活動参加者の増加を図る。さらに、用具の充実とその運搬に関する安全面を考慮し、その方法について模索していく。
- ・京都市から要請があれば、双京構想推進事業に協力する。
- ・明日の京都文化遺産プラットフォームとの連携を継続する。

##### ◎会員事業

- ・歴史探訪会は、安全確保を十分に留意しコースを設定、未参加の会員の参加を促す。

- ・研究発表会は、会員の知識向上と発表の場を提供し、会員同士のコミュニケーションを図る。京のこと語り隊講師のスキルアップの場としても活用する。
- ・文化交流部会は、歴史・文化の宝庫である京都の特徴を生かした事業、“衣紋道や能楽、伝統工芸についての講演や体験、京の食文化探訪”等々、会員が楽しみながらより深い京都を学ぶ機会をつくる。
- ・都草 わくわく倶楽部は、わくわく研究会（元のフィールドワーク活動）と祇園祭研究会からなる。4月1日策定のガイドラインに基づき、より深い内容の活動実現に努める。  
わくわく研究会は、年に2回の発表会と個別調査とその結果の報告。祇園祭研究会は、6月に京都府立京都学・歴彩館での都草講演会に登壇し山鉾の動物調査の中間報告、さらに研究会オリジナルの検定問題作成後は、その活用の仕方を考えていく。
- ・京のこと語り隊は、統一テーマを設定し各自が研究して、パワーポイント作品を制作し発表する。研究発表会等での具体的な発表の機会を設け実践する。
- ・ガイド研修部門は、ベテラン会員による研修を実施し、プロによる講演会を開催する。
- ・都草 講演会は、会員の知識向上のために専門の知識を持った講師を招き、京都府立京都学・歴彩館での年間2回講演会を開催する。
- ・都草のホームページや都草だよりを通して、都草の活動方針や内容をタイムリーに発信、会員にとって、都草の活動が誇らしくやり甲斐のある活動であることを再認識できるツールとする。
- ・会員台帳システムの機能をフルに活用し、会員の積極的な活動参加や活動の充実化に結び付ける。

### ◎受託事業：案内業務

- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場、阪急交通社・JTB・京都高齢者大学校・京都東急ホテル・単発ガイド等のツアーガイド業務は引き続き行う。今後も NPO 法人としての都草にふさわしい案内業務の依頼には積極的に取り組んでいく。

### ◎受託事業：講座業務

- ・15回目の開催となる都草京都通模擬試験（京都検定1級受験者対象）、講師を担当するようになって10年目を迎える京都新聞文化センター主催の京都検定1級講習会は、受験者を支援するための一つとして、今後は東京在住のメンバー会員の協力も得て、活動を充実させていく。
- ・10年目を迎えたヤサカ観光講座も継続して受託する。
- ・京都の歴史や伝統文化・行事祭事等について話をする「おでかけ講座」として、大学コンソーシアム講座・京都伝統工芸大学校・京都高齢者大学校・阪急交通社「たびコト塾」等の講座を継続する。  
今後も、案内や講座を通じて京都の情報や魅力について発信し、さまざまな方面からの要請に可能な限り応え、会員の活動の場を充実させる。

## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所	スタッフ	対象者と予定人数
美化活動	観光地・社寺・史跡等の美化活動	年約10回	京都府内	20名	会員・一般 400名
京都御苑歴史研究会	京都御苑歴史研究会	年1～2回	未定	26名	会員・一般 60名

京都御苑 歴史 研究会	京都御苑御所 歴史散策ツアー	毎週日曜日	京都御苑・御所 7月から4コース	26名	一般 800名
	京都御苑案内 (団体予約)	年10回程度	京都御苑	15名	一般 多数
伝統文化 支援	大船鉾支援	令和3年 7月20日～24日	大船鉾	100名	一般 多数
府庁連携	京都府庁案内 (旧本館・旧議場)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	府庁旧本館 府庁旧議場	約70名	一般 25,000名
	旧議場土曜講座	令和3年10月1日～ 令和4年3月31日 (月1回)	府庁旧議場	8名	一般 500名
歴史 探訪会	社寺・史跡等 歴史探訪会	年4回	京都府内	35名	会員・一般 160名
文化交流	文化交流部会	年3回	京都府内	10名	会員 150名
研究発表 会・講演	都草研究発表会	年7回	ひと・まち交流館 京都、リモート	21名	会員 200名
	都草講演会	年2回	京都府立京都学・ 歴彩館	6名	会員・一般 400名
研修会	研修バス旅行	年1回	未定	2名	会員・40名
	ガイド研修会	年数回	ひと・まち交流館 京都	4名	会員 50名
	古文書連続講座	年2回	リモート	2名	会員 25名
	各種研修会	年数回	未定	4名	会員 50名
都草 わくわく 倶楽部	わくわく研究会	年10回	京都市内	6名	部員 200名
	祇園祭研究会	年10回	京都市内	6名	部員 200名
ガイド ツアー	JTBまちあるき案内	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	京都市内	約50名	一般 800名
	京都東急ホテル サンデーウォーク	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	京都市内	9名	一般 310名
	その他の ボランティアガイド	不定期	京都市内	50名	一般 500名
京都検定 対策	京都通模擬試験	令和3年10月	ひと・まち交流館 京都	18名	会員・一般 150名
	京都新聞文化センター 京都検定1級対策講座	令和3年9・10月 (4回)	京都経済センター 大正大学(東京)	24名	一般 400名
	ヤサカ観光講座	令和3年6月～11月 (11回)	彌榮自動車	33名	一般 200名 会員 100名
	京都駅ビル開発	未定	京都駅ビル開発(株) 会議室	12名	一般 40名
おでかけ 講座	京都伝統工芸大学校	令和3年 5月1日～8月31日	二本松学院 リモート	5名	学生 310名
	京のこと語り隊	年数回	ひと・まち交流館	4名	会員 20名
	大学コンソーシアム京都	未定	キャンパスプラザ 京都	6名	大学生 400名

おでかけ 講座	その他の講演	年数回	各地	4名	一般 150名
複合業務	京都高齢者大学校 (講座)	年8回	長浜バイオ大学 河原町学舎	12名	一般 400名
	京都高齢者大学校 (ツアー)	月4回	京都市内	50名	一般 1200名
	阪急交通社(講座) 大阪	月1回	梅田阪急 グランドビル30F	14名	一般 400名
	阪急交通社(講座) 名古屋	未定	東進名駅ビル 5F	13名	一般 300名
	阪急交通社(講座) 東京	年数回	阪急交通社 東日本営業部 新橋センター	1名	一般 300名
月刊誌	『月刊京都』連載	月1回		21名	